

# 読

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

# 響

クラシック音楽は楽しい! 2つの人気曲を極上の演奏で。

# ベートーヴェン 運命 Symphony No.5

メンデルスゾーン: 序曲「フィンガルの洞窟」作品26  
Mendelssohn: "The Hebrides" Overture, op.26

ショパン: ピアノ協奏曲第2番 八短調 作品21  
Chopin: Piano Concerto No.2 in F minor, op.21

ベートーヴェン: 交響曲第5番 八短調 作品67  
Beethoven: Symphony No.5 in C minor, op.67



©Marek Vogel

欧州で注目されているドイツの名匠  
得意のベートーヴェンで実力を発揮!  
指揮= リーブレイク  
Conductor: Alexander Liebreich  
ライブレイク  
コンサート  
サインダー!

# ショパン ピアノ協奏曲 第2番 Piano Concerto No.2



©Ayako Yamamoto 衣装提供: 株式会社 オンワード樺山

テレビでも話題の16歳の天才ピアニスト  
確実な技巧と豊かな音楽性を披露!  
ピアノ= 牛田智大  
Piano: Tamaharu Ushida

コンサートマスター: 日下紗矢子  
Concertmaster: Sayako Kusaka

★ 読売日本交響楽団 第189回 土曜マチネーシリーズ

2016年 7月23日(土) 14時開演  
東京芸術劇場コンサートホール

Saturday Matinée Series, No.189  
Saturday, 23 July 2016 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre  
S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C **SOLD OUT**

★ 読売日本交響楽団 第189回 日曜マチネーシリーズ

2016年 7月24日(日) 14時開演  
東京芸術劇場コンサートホール

Sunday Matinée Series, No.189  
Sunday, 24 July 2016 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre  
S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C **SOLD OUT**

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター: 0570-00-4390

http://yomikyo.or.jp/

(10時~18時・年中無休)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

事業提携: 東京芸術劇場

# 俊英リープライヒが「運命」を指揮

～新星・牛田が弾くショパン～

苦悩を乗り越え、歓喜へ。ベートーヴェンの音楽は、時代を超えて、今も私たちの心を鷲掴みにする。漲るエネルギーと緊張感に満ちた冒頭から喜びを高らかに歌い上げるフィナーレまで、傑作「運命」は何度繰り返し聴いても、飽きることがない。力強いメッセージに満ち、多くの魅力が詰まった作品なのだ。

今回、指揮台に立つのはドイツの名匠アレクサンダー・リープライヒ。古典から現代作品まで幅広いレパートリーを誇り、欧州で活躍する俊英指揮者だ。ベートーヴェンの演奏でも評価が高く、快速テンポで熱いパッションに溢れた鮮烈なタクトで、各地の聴衆を魅了している。読響に初登場となるこの演奏会でも、誰もが良く知る「運命」から新たな魅力を引き出し、今の時代に蘇らせてくれるだろう。

前半は、16歳の新星ピアニスト、牛田智大が読響と初共演する。8歳の時から5年連続でショパン国際コンクール in ASIAで第1位受賞の快挙を成し遂げ、一躍注目を浴びた新星ピアニストだ。今年5月には、NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」の特番でも取り上げられ、大きな話題となった。近年、牛田はプレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管と共演するなど活躍の幅を広げており、音楽的にも更に磨きがかけている。演奏会では「崖っぷちまで自らを追い込んで、音楽に没頭する」という牛田は、常に音楽に真摯に向かい、独自の解釈を強く打ち出し、音楽家として深みを増している。

今回演奏するショパンのピアノ協奏曲第2番は、哀愁を帯びたメロディで広く親しまれている作品。牛田はショパンの作品を得意としており、今回の独奏でも成長ぶりを遺憾なく発揮することだろう。牛田が切り拓く新時代を、今から共に見届けていただきたい。

## 指揮＝アレクサンダー・リープライヒ

Conductor: Alexander Liebreich

ドイツとポーランドを拠点に、意欲的な活動で注目を浴びる名匠。現在はミュンヘン室内管の音楽監督及び首席指揮者、ポーランド国立放送響の芸術監督及び首席指揮者を務めている。古典派から現代作品まで幅広いレパートリーを誇り、その画期的なプログラミングで非常に高く評価されている。これまでに、ロイヤル・コンサートヘボウ管、ミュンヘン・フィル、ベルリン放送響、ベルリン・コンツェルトハウス管、バイエルン放送響、ハンブルク北ドイツ放送響、BBC響など世界の名だたる一流楽団に客演。2011年には、韓国の統営国際音楽祭 (TIMF) の芸術監督に就任した。録音も数多く、グラモフォンやソニーから多数リリースしている。今回が読響と初共演となる。

©Thomas Rabsch

## ピアノ＝牛田 智大

Piano: Tomoharu Ushida

1999年いわき市生まれ。3歳からピアノを始め、5歳の時に上海でのコンクールで優勝。8歳の時から5年連続でショパン国際ピアノコンクール in ASIAで第1位受賞。2012年、浜松国際ピアノアカデミー・コンクールにて最年少第1位受賞。同年、日本人ピアニストとして最年少でユニバーサルよりCDデビューし、その後「愛の喜び」など4枚のアルバム、今年4月には初のベスト・アルバムもリリース。各地でのリサイタルに加え、国内主要楽団やウィーン室内管、台湾・高雄響などと共演。2015年6月にはプレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管のソリストを務め、絶賛された。現在、モスクワ音楽院ジュニア・カレッジに在籍。



©Ayako Yamamoto 衣装提供：株式会社 オンワード樺山

★読売日本交響楽団 第189回 土曜マチネーシリーズ

2016年 7月23日 (土) 14時開演

S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C **SOLD OUT**

★読売日本交響楽団 第189回 日曜マチネーシリーズ

2016年 7月24日 (日) 14時開演

S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C **SOLD OUT**

東京芸術劇場 コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (\*駅地下通路2b出口と直結しています)

東京芸術劇場には一時託児施設があります。だっこルーム03-3981-7003

学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

\*10時～18時・年中無休

\*座席選択してチケットをご購入いただけます(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)。\*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド：チケットぴあ 0570-02-9999、東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296